



## 後藤運送株式会社

### 熟練の技が光る運送技術



#### 会社プロフィール

代表取締役 後藤 勝彦

【事業内容】ピアノなどの運送・移動、保管・修理、調律、販売

【所在地】持田 639

困った人からの依頼も多いそうです。例えば、顧客が他の運送会社に依頼したと

判は広がっています。

こうした評判もあり、ピアノの運搬に

伴う運搬の他、イベントやコンサートで

使用するグラランドピアノの運搬です。50

年近くピアノの運送を専門に行ってきた

同社の実績と経験、そして従業員の熟練

された技が評価され、音楽教室などから

のりピーターや利用者の口コミでその評

判は広がっています。

こうした評判もあり、ピアノの運搬に

伴う運搬の他、イベントやコンサートで

使用するグラランドピアノの運搬です。50

年近くピアノの運送を専門に行ってきた

同社の実績と経験、そして従業員の熟練

された技が評価され、音楽教室などから

のりピーターや利用者の口コミでその評

判は広がっています。

こうした評判もあり、ピアノの運搬に

伴う運搬の他、イベントやコンサートで

使用するグラランドピアノの運搬です。50

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。

特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課(内線318)までお寄せください。

## 俳句壇田

ぎょうだ はいだん

#### 俳句応募方法

一人3句以内。住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、はがきまたは封書で広報広聴課まで。※毎月末日必着

なお、「一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。

#### 巡行の山車に付きゆく肩車

谷郷 羽石 芳道

【句評】夏は祭りの季節である。日本中で大小の祭事が展開され、多くの人々が熱中する。その中心は山車であり神輿といえるだろう。渦中で引つ張ったり担いだりする者、遠まきに見学する者など楽しみ方はそれぞれであるが、掲句は後者である。子どもを肩車しながら山車の後について行く、ほのぼのとした光景である。単純な描写が絶妙でさまざまな想像を生む。

#### 夏の雲一揆帰りのトラクター

小見 川島 盾子

【句評】永田町に戦車のごく農機を連ねてデモ行進する農民の抗議をテレビで見たことがある。まさに現代版農民一揆である。今年は米価の高騰が社会問題となり、国の備蓄米が放出された。日本人の主食である米ぐらいは安定供給して欲しいものである。一揆から戻った農機はまた黙々と農作業に精を出す。空には不穏な入道雲が隙をうかがっている。嫌な世の中だ。

#### 梅雨晴間傘を竹刀に下校の子

持田 小倉 繁二

【句評】今年の梅雨は猛暑の合間に集中豪雨が襲うというまさに男梅雨である。雨が止むと傘を刀代わりにわんぱく共が駆け巡る。昔懐かしい光景である。今ではゲームに熱中する子ばかりでチャンバラごっこをする姿はとんと見かけられることはない。郷愁の一句かもしれないが子どもらしく以前のようにはと願わずにはいられない。

#### 余り苗畔際にさし田植終ふ

棚田町 川鍋 幽覚

麦秋や今日もいつものバス走る

門井町 宮田 淑尚

しづき浴び声も弾ける船下り

藤原町 斎藤雄次郎

梅雨散歩転ばぬ先の杖もちて

富士見町 森 節子

五月雨や友の棺のかな手本

忍 伊藤 誠一

花手水もつれるやうに夏の蝶

持田 田口 康子

栄町 柏木 静枝

(三沢一水選評)

来て! 見て!

## 図書館

と し ょ かん

● ● ● ● ● ● ● ●

#### 開館時間

午前9時～午後7時

#### 休館日

8月 4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)、

9月 1日(月)・2日(火)・8日(月)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

#### ●図書館●

佐間3-24-7(「みらい」内)

TEL:556-4227

FAX:555-3770



### 第12回行田市図書館を使った調べる学習コンクール

日頃感じる分からないことや不思議に思うことを図書館の本を使って調べ、分かったことを作品にしてみませんか。図書館では参加作品を募集しています。

- ▶募集期間 8月1日(金)～9月12日(金)
- ▶応募作品 図書館の本などを活用し「調べた情報をまとめた作品」や「夏休みの自由研究作品」
- ▶応募資格 市内在住の小学生
- ▶応募方法 市内に通学している方は学校に、市外に通学している方は図書館に提出してください。
- ▶その他 上位の作品(優良賞)は、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクールの三次審査に推薦されます。

#### 調べ方が分からないときは図書館に相談してください

コンクールに応募したいけれど初めてで不安な方など、調べる学習に関するサポートをします。

- ▶時間 午前10時～午後4時の間
- ▶対象 市内在住の小学生(保護者同伴可)
- ▶場所 図書館内
- ▶その他 事前に図書館に電話してください。

### 大人のためのミニ朗読会「夏」

- ▶日時 8月17日(日)午後1時30分～2時40分(午後1時から開場)
- ▶場所 中央公民館第1学習室
- ▶内容 ・「とあるひととき」より「夕暮れの、どんな空を見ても」川上未映子/著 平凡社  
・「ショートショート」より「開けてはならない」新津きよみ/著 光文社  
他2作品を朗読します。
- ▶定員 70人(先着順)
- ▶協力 行田朗読の会
- ▶その他 申し込み不要です。

### 夏休みに図書館で勉強をお考えの方へ

図書館では、学習専用席28席と学習(勉強)・資料閲覧のどちらでも利用できる学習閲覧席12席を用意していますので、ぜひご利用ください。  
※その他の場所での勉強はご遠慮いただいています。

## 行田歴史系 377

資料がかたる行田の歴史

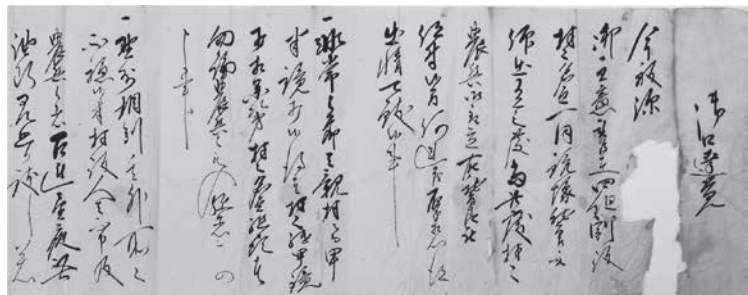
77

### 幕末の農兵と忍藩

農兵とは領主の軍勢力補填や領内の治安維持のため、農民に軍事訓練を施したものです。慶応2(1866)年6月に起こった武州世直し一揆では、武蔵・上野内の諸藩や幕府の歩兵、八王子千人同心の他、伊豆葦山代官配下の農兵たちも鎮庄に加わり、その存在が目玉されました。忍藩でも慶応3(1867)年5月に農兵を組織することになりました。当初は行田町から人選された47人が本陣に呼び出され、銃隊の稽古が命じられました。その時の記録である「銃隊一件訳書」には、稽古に参加した町民の名前が出ています。これを見ると大沢久右衛門や綿屋儀助、橋本槌三郎、橋本茂七、山田清兵衛といった大店の子弟が参加しています。藩の命令で組織したのですから、最初は有力町人の身内が参加したのでしょう。稽古は佐間村の天神社の裏にあった安養院という寺で行われました。

続いて藩領内の村々でも農兵を組織することに

なりました。同年12月に藩から出された「御口達覚」には、今河藩主の命令により農兵を取り立てて稽古することとなつたので、よく心得て対応するようにとあります。編成は城付四組(佐間組・持田組・谷郷組・血尾組)ごとに行われたようです。非常時には親村(割役名主がいる村)でそれぞれ半鐘を鳴らすので、各村はそれを受けて半鐘を鳴らし、農兵は駆け付けるところにとあります。また、村役人は農兵を引き連れて昼夜油断なく見回りをし、不審者がいれば、取り押さえるようにとあります。農兵は治安維持にも一役買っていたようです。慶応3(1867)年12月といえば、大政奉還の2カ月後であり、藩主松平忠誠も軍勢を率いて上洛しました。まさに風雲急を告げる激動の時代を背景として忍藩の農兵は編成されていったのでした。(郷土博物館 鈴木紀三雄)



御口達覚(郷土博物館保管)